

## 集会決議

10月1日、日米両政府はMV22オスプレイの沖縄—普天間基地配備を強行した。沖縄人民をはじめとする全人民の配備反対の声を踏みにじり、一時駐機していた岩国基地から配備したのである。私たちはかかる暴挙を満腔の怒りをもって弾劾する。これは普天間基地の即時無条件返還を求める沖縄人民に対する重大な敵対である。同時に、岩国基地の拡大強化に反対する岩国市民に対する敵対である。私たちは、米軍再編—アジアにおける米軍基地機能強化の攻撃そのものとして、MV22オスプレイの沖縄配備を徹底的に弾劾する。

この暴挙に対して、沖縄人民、岩国市民は決してあきらめたのではない。闘いはますます強化されている。この闘いは海を越え、韓国、フィリピン、台湾をはじめとするアジア民衆の闘いと結合している。韓国カンジョン村の海軍基地建設反対の闘いは、沖縄、岩国の闘いと同質の闘いである。今求められていることは、国際主義の質をもって反戦・反基地闘争を闘うことである。私たちは「アジアから米軍総撤収を！」というAWCスローガンの実践を、沖縄人民、岩国市民と連帯して闘っていく決意である。

オスプレイの沖縄配備弾劾！ 岩国基地の拡大強化を許すな！ 沖縄人民、岩国市民と連帯して闘おう！ 「オスプレイの沖縄配備に反対する首都圏ネットワーク」が呼びかける11月4日の芝公園集会に結集しよう！

野田政権は大飯原発の再稼働を強行し、さらに青森県・大間原発の建設を進めようとしている。3・11福島第一原発事故の被害の現実を一切省みることなく、原発政策を推進しようとしているのだ。福島の人々の怒りの声を忘れてはならない。誰が原発事故の責任をとったのか？ 誰もその責任をとらずに、福島の人々に被害を押しつけているのが現状ではないか！ それは、沖縄や岩国と同じ構図である。

私たちは福島の人々の怒りと結合して反原発闘争を闘う。全国の再稼働阻止の現地闘争を担う人々と連帯した闘いを目指す。被爆者、被曝二世・三世の闘いと結合した反戦—反核闘争を闘う。第15回AWC—CCB国際会議における「原発の全廃を求める決議」に基づいて、国際主義の精神で反原発闘争を闘う決意である。

11月11日の「反原発100万人大占拠」に結集しよう。そして、これに先立つ10日の「再稼働阻止全国ネットワーク」結成集会に参加しよう。

これらの闘いは、労働者の権利剥奪を許さない闘いと一体のものとして闘っていかなければならない。反戦—反基地—反原発の闘いは、労働者階級自らの生存をかけた闘いとして浮上している。現在ほど、正規—非正規を貫いた闘いが求められている時代はない。私たちは戦闘的階級的労働組合を軸にして、労働者の権利を守る闘いを推進していく。

政府の反動化と連動した差別排外主義に対して、国際主義を掲げて闘っていこう。あらゆる改憲攻撃を許さず、反改憲の大衆運動を巻き起こしていこう。

本日私たちは、岩国市議の田村順玄さんを招いて、基地拡大強化と闘う岩国市民の闘いを共有した。岩国市民は06年の住民投票で、厚木基地からの空母艦載機の移駐などの基地拡大強化に対してNO！の意志を示した。しかし政府はその民意を尊重せず、逆に補助金を凍結して岩国市を財政的に締め上げた。そして愛宕山米軍住宅建設を推進していこうとしている。岩国は極東最大の機能をもつ米軍基地として拡大強化されようとしている。

しかし、岩国市民の闘いは日米政府を追い詰め、粘り強く前進している。米軍再編と対決する岩国市民の闘いに応えるべく、岩国現地闘争に起とう！

私たちは以上の課題を11月23・24日の「2012岩国行動」に結実させていく。

本集会参加者諸君！ 11月23・24日岩国現地で再会しよう！

以上決議する。

2012年10月21日

「オスプレイはいらない！ 岩国・沖縄とつながろう！ 10・21AWC首都圏集会」参加者一同